

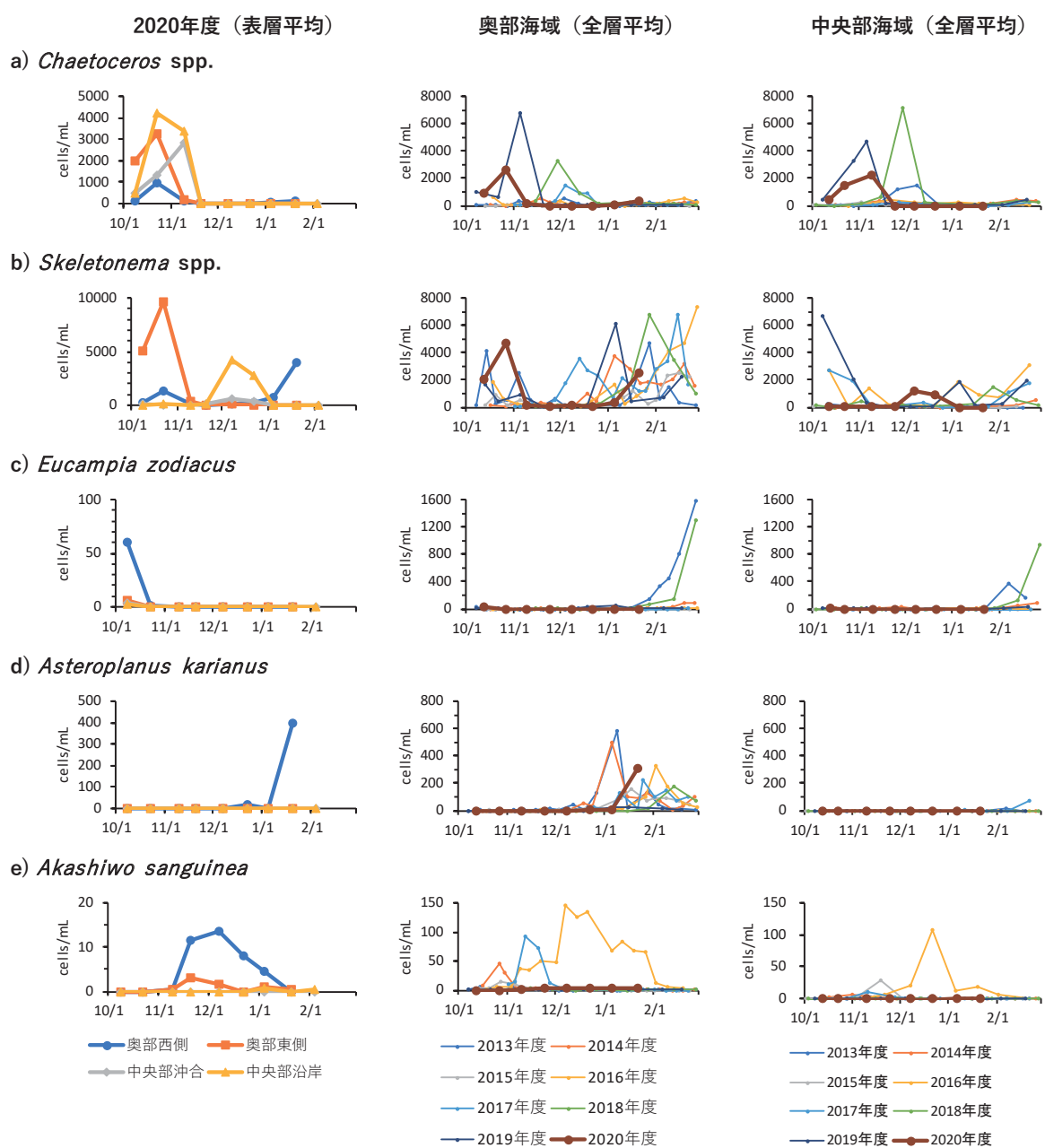


図6 2020年度の10月から1月（中央部は2月上旬まで）の水域別定点における表層（左）および2013年度から2020年度の10月から2月（2020年度は1月まで）の奥部海域（中央）および中央部海域（右）における全定点の全採水層の a) *Skeletonema* spp., b) *Chaetoceros* spp., c) *Eucampia zodiacus*, d) *Asteroplanus karianus*, e) *Akashiwo sanguinea* の平均細胞密度の変化

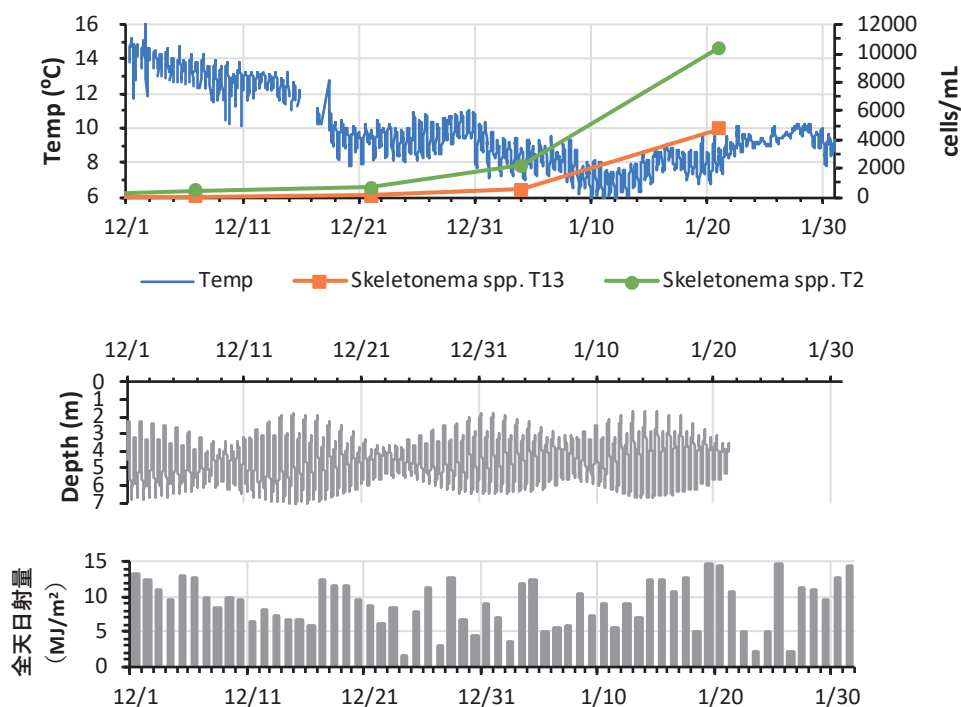
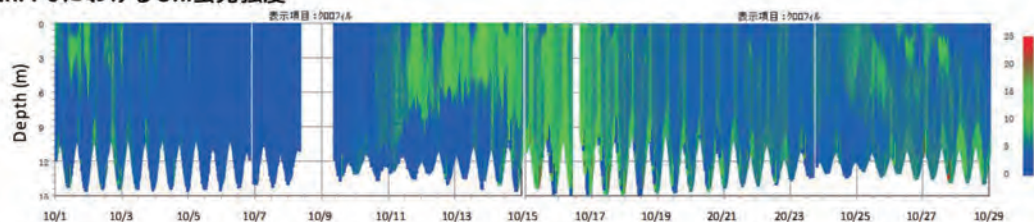


図7 2020年12月から2021年1月までの Stn. T13 の表層における水温および Stn. T13 と Stn. T2 における *Skeletonema* spp.の細胞密度の変化（上段），Stn. 13 における水深の変化（中段），佐賀市における全天日射量の変化（下段）

a) Stn. P6におけるChl蛍光強度



b) 定期観測による *Skeletonema* spp.の細胞密度

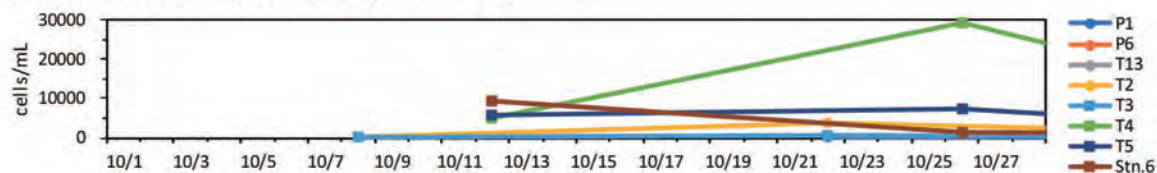


図8 2020年10月の a) Stn. P6 におけるクロロフィル蛍光強度の鉛直分布の変化および b) 定期観測による奥部定点における *Skeletonema* spp.の細胞密度の変化